

近藤聡乃

- 1980 千葉県生まれ  
 2003 多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業  
 2008- ニューヨーク在住

主な個展

- 2019 「近藤聡乃展 呼ばれたことのない名前」 三菱地所アルティアム／福岡  
 2018 「MAM SCREEN 008: 近藤聡乃」 森美術館／東京  
 2013 「KiyaKiya 1/15 秒」 ミヅマアートギャラリー／東京  
 「KiyaKiya アニメーション原画展」 六本木ヒルズ A/D ギャラリー／東京  
 「KiyaKiya 1/15 秒」 galleri s.e／ベルゲン、ノルウェー  
 2011 「KiyaKiya」 ミヅマアートギャラリー／東京  
 2008 「果肉」 ミヅマアートギャラリー／東京  
 2007 「hint」 Tache-Levy Gallery／ブリュッセル、ベルギー  
 2006 「てんとう虫のおとむらい」 ミヅマアートギャラリー／東京  
 2004 「近藤聡乃展」 トランスポップギャラリー／京都  
 2003 「近藤聡乃展」 ギャラリーエス／東京

主なグループ展

- 2019 「Annecy 2019 - Tribute to Japanese Animation -」  
 Annecy International Animated *Film Festival* and Market (Mifa)／アヌシー、フランス  
 2017 「tricky women 2017」 BildRaum07／ウィーン、オーストリア  
 「Forms and Effects: Ukiyo-e to Anime」 Kresge Foundation Gallery、Ramapo College of New Jersey  
 ／ニュージャージー、アメリカ  
 2016 「Rewind: Selections from the Harold and Ruth Newman New Media Collection」 アジアソサエティ  
 ／ニューヨーク、アメリカ  
 「ポーラミュージアムアネックス展 2016-イメージと人体-」 ポーラミュージアム アネックス／東京  
 2015 「Fermented Souls」 KATESHIN Gallery／ニューヨーク、アメリカ  
 「Further towards the future」 Mizuma Gallery、シンガポール  
 「Unveiling Fundamentals in Contemporary Art Through Asia」 OHD museum／マゼラン、インド  
 ネシア  
 「Toutes uniques, toutes identiques: Accumulations, répétitions, proliférations dans l'art  
 contemporain」 Espace Sarah Bernhardt／グッサンヴィル、Le Musée Alfred Canal／ポン・オード  
 ウメール、フランスへ巡回  
 2014 「IMPACTS!・勢み」、Zane Bennett Contemporary Art／サンタフェ、アメリカ  
 「ゴー・ビトゥイーンズ：こどもを通して見る世界展」  
 森美術館／東京、名古屋市美術館／愛知、沖縄県立博物館・美術館へ巡回  
 「タマガラアニメとマンガ博」 アキバタマビ 21／東京

- 2013 「The Garden of Forking Paths: Exploring Independent Animation」 OCAT, OCT  
Contemporary Art Terminal Shanghai / 上海、中国
- 2012 「ジパング展－沸騰する日本の現代アート」  
新潟県立万代島美術館／新潟、秋田県立近代美術館／秋田へ巡回  
「Planete Manga! (at Studio 13/16)」 Centre Pompidou／パリ、フランス
- 2011 「East West Connect」 Above Second Gallery／香港  
「ジャラパゴス展」三菱地所アルティウム／福岡  
「ジパング－3 1人の気鋭作家が切り拓く、現代日本のアートシーン。」  
日本橋高島屋8階ホール／東京、他2会場へ巡回
- 2010 「DOMANI・明日展 2010」国立新美術館／東京  
「ジャラパゴス展 (Tokyo Designer'sweek)」明治神宮外苑／東京  
「YouTube Play: Biennale of Creative Video」グッゲンハイム美術館／ニューヨーク、アメリカ  
「Make Believe」The Harold B. Lemmerman Gallery, New Jersey City University／ジャージーシテ  
ィー、アメリカ  
「Dazzled and Enchanted－New Age Animamix」広東美術館／広州、中国
- 2009 「Enliven－In Between Realities and Fiction－Animamix Biennial 2009-2010」今日美術館／  
北京、中国  
「November Steps」ミヅマアートギャラリー／東京
- 2008 「反主流」三瀦画廊／北京、中国  
「KITA!－Japanese artists meet Indonesia」ジャカルタ、ジョグジャカルタ、バンドウン、  
インドネシア  
「VIDEOFORMES 2008」クレルモン・フェラン、フランス  
「Eyes & Curiosity, Taiwan version」Soka Art Center／台北、台湾
- 2007 「3L4D－3rd Life 4th Dimension」National Dr. Sun Yat-sen Memorial Hall／台北、台湾  
「How to cook DOCOMODAKE ?」201 Mulberry St. / ニューヨーク、アメリカ、  
NTT インターコミュニケーション・センター (ICC) / 東京へ巡回  
「Pocheon Asia Biennale 2007－Encounter with Contemporary Asian Art」  
Pocheon Banweol Art Hall / 抱川、韓国  
「Contemporary Outlook: Japan」Museum of Fine Arts, Boston／ボストン、アメリカ  
「International Contemporary Art from the Harn Museum Collection」Harn Museum of Art  
／ゲーンズビル、アメリカ  
「Get It Louder 2007」広州、上海、北京、中国  
「Thermocline of Art－New Asian Waves」ZKM／カールスルーエ、ドイツ  
「CORPO SOCIALE」Galleria PACK／ミラノ、イタリア  
「Festival EXIT」Maison des Arts de Creteil / クレテイユ、フランス  
「No American Talent II, Dark Matter : New Work from Japan」Okay Mountain  
／テキサス、アメリカ
- 2006 「Eyes and Curiosity from Tokyo」Chelouche Gallery / テルアビブ、イスラエル

- 「videotheque」 Site Gallery／シェフィールド、イギリス  
 「Fiction@Love」 上海現代美術館／上海、中国
- 2005 「スイスコミックアート展」 川崎市市民ミュージアム／神奈川県  
 「Spoltore Ensomble 2005－The Evening Traveling: Animations, Dreams and Visions from Contemporary Japan」 ペスカーラ、イタリア  
 「Paradiso d'Amore－Neo-Aesthetics of Animamic Age」 Hangzhou Peace International Exhibition and Conference Center／杭州、中国、 Beijing World Art Museum／北京、中国へ巡回  
 「Psionic Distortion」 Plum Blossoms Gallery／ニューヨーク、アメリカ  
 「Since 1994－ミヅマアートギャラリー10周年記念展」 ミヅマアートギャラリー／東京  
 「Aランチ」 アクシスギャラリー／東京
- 2004 「Psionic Distortion」 Super Deluxe／東京  
 「Tokyo Style」 Milliken Gallery／ストックホルム、スウェーデン  
 「日本四景」 ギャラリーエス／東京  
 「Girls & Guns」 The Proposition／ニューヨーク、アメリカ  
 「Blind Pilots」 The Proposition／ニューヨーク、アメリカ  
 「オトメ会議」 ギャラリーエス／東京

主なスクリーニング:

- 2019 「JAPONOHARA」 la sellerie du parc du haras／アヌシー、フランス  
 アヌシー国際アニメーション映画祭「NEW MOTION –the Next of Japanese Animation-」アヌシー、フランス  
 「World Festival of Animated Film- ANIMAFEST Zagreb」 ザグレブ、クロアチア
- 2017 「Award-winning Program 2017」 (文化庁メディア芸術祭上映プログラム「tenacious, gracious－しなやかに、したたかに－」) A4 Art Museum／成都、中国  
 「FILE 2017- Electronic Language International Festival」 (文化庁メディア芸術祭上映プログラム「tenacious, gracious－しなやかに、したたかに－」) ブラジル
- 2016 「文化庁メディア芸術祭新潟展」 COZMIX ビル／新潟  
 「文化庁メディア芸術祭 20周年企画展『変える力』」 UDX THEATER／東京  
 「アテネ・デジタル・アーツ・フェスティバル 2016」 (文化庁メディア芸術祭上映プログラム「JAPAN POP ENERGY」) Building Complex Gate Ermou／アテネ、ギリシャ
- 2015 「勝山映像フェスティバル 勝山アニメーション・ショウケース vol.1」 岡山  
 「ソウル国際マンガ・アニメーションフェスティバル」 (文化庁メディア芸術祭上映プログラム「JAPAN POP ENERGY」) ソウル、韓国  
 「ICAF2015」 新国立美術館／東京、シネモンド／金沢
- 2014 「Bradford Animation Festival」 National Media Museum／ブラッドフォード、イギリス  
 「FANTOCHE」 バーデン、スイス
- 2013 「第16回文化庁メディア芸術祭」 国立新美術館/東京
- 2012 「第9回日本映画祭 映画とアニメーションの万華鏡」 釜山、韓国

- 「Japan Touch」 リヨン、フランス  
 「TOKYO ANIMA!秋」 国立新美術館/東京  
 「TOKYO ANIMA!春」 国立新美術館/東京  
 「Nippon Connection」 Japanese Film Festival/ フランクフルト、ドイツ  
 2011 「Adelaide Festival」 アデレード、オーストラリア  
 札幌ビエンナーレ・プレ企画内「現代アニメーション総進撃！」北海道立近代美術館講堂  
 2010 「Ottawa International Animation Festival」 オタワ、カナダ  
 「SICAF (Seoul International Cartoon & Animation Festival)」 ソウル、韓国  
 「Shinsedai Cinema Festival 2010」 トロント、カナダ  
 「The 4th International Digital Moving Image Festival」 Korean Film Archive/ ソウル、韓国  
 「PLASTIC PAPER: WINNIPEG'S FESTIVAL OF ANIMATION, ILLUSTRATION & PUPPET FILM」 ウィニペグ、カナダ  
 「TOKYO\_ANIMA!」 国立新美術館/東京  
 2009 「New Nippon: Contemporary Film & Video from Japan」 Gene Siskel Film Center/シカゴ、アメリカ  
 「Shinsedai Cinema Festival」 トロント、カナダ  
 「Film Fort, Function 13 Gallery」 トロント、カナダ

主な受賞歴

- 2012 アニメーション「KiyaKiya」  
 ・平成 24 年度[第 16 回] 文化庁メディア芸術祭/ アニメーション部門審査委員会推薦作品  
 2010 アニメーション「てんとう虫のおとむらい」ダイジェスト版  
 ・「YouTube Play: Biennale of Creative Video」、TOP 25 videos  
 2003 マンガ「つめきり物語」  
 ・平成 15 年度[第 7 回] 文化庁メディア芸術祭/ マンガ部門審査委員会推薦作品  
 2002 アニメーション「電車かもしれない」  
 ・平成 14 年度[第 6 回] 文化庁メディア芸術祭/ アニメーション部門/ 奨励賞  
 ・DIGISTA AWARDS 2002 アニメーション部門賞  
 ・第 3 回 ユーリ・ノルシュテイン大賞/ 観客賞  
 立体作品「はこにわ虫」  
 ・GEISAI1-GP/ 草間彌生賞  
 2000 マンガ「小林加代子」  
 ・第 2 回アックス新人賞/ 奨励賞

ミュージアムコレクション：

Asia Society、ニューヨーク、アメリカ  
 川崎市市民ミュージアム、神奈川  
 森美術館、東京

出版物

- 2020 『A子さんの恋人1～6巻』(KADOKAWA)
- 2018 『ニューヨークで考え中 1、2』(亜紀書房)
- 『Chroniques new-yorkaises Volume 2』(Le Lezard Noir)
- 2016 『Chroniques new-yorkaises Volume 1』(Le Lezard Noir)
- 2014 『Nothing Whatsoever All Out in the Open』(Retrofit / Big Planet Comics)
- 2013 『KiyaKiya-アニメーション原画集』(ナナロク社)
- 2013 『近藤聡乃作品集』(ナナロク社)
- 2012 『うさぎのヨシオ』(エンターブレイン)
- 2012 『近藤聡乃エッセイ集 不思議というには地味な話』(ナナロク社)
- 2011 『近藤聡乃スケッチ集 KiyaKiya』(ナナロク社)
- 2009 『Les insects en moi』(Le Lezard Noir)
- 2008 『いつものはなし』(青林工藝舎)
- 2006 『EIKO』(Le Lezard Noir)
- 2004 『はこにわ虫』(青林工藝舎)